

室 建 第1305号
平成15年1月21日

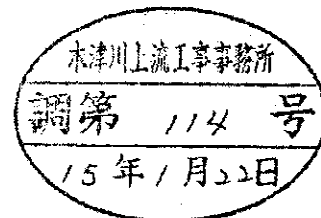
近畿地方整備局
木津川上流工事事務所長 殿

室生村長 奥 本



淀川水系河川整備計画策定に向けての説明資料についての
意見要望書の提出について

このことについて、平成14年12月26日付け事務連絡により説明資料を
送付戴いた件について、別紙により意見要望を致します。



河川整備計画策定についての意見要望について

「新たな河川整備をめざして」淀川水系流域委員会の提言（案）を受け河川整備の基本的な考え方が示されていますが、淀川水系木津川の上流に位置する室生村は、山間部で河川に沿って山と川の狭隘な中に道路や住宅地・田畑等があり豪雨や長期にわたる長雨に対し堤防や護岸によって安心して住むための整備はまだまだ手つかずの場所が多く、もし、未整備のまま土砂崩れ等が発生すれば下流に対しても甚大な被害を及ぼすことも予想されることから、上流に対する対策についても十分検討戴き整備計画の策定をお願い致します。

本村における宇陀川の治水対策は遅れており、出水のたびに浸食にみまわれ、崩壊並びに浸水の危険にさらされています。

また、室生ダムは、昭和49年に多目的ダムとして完成して以来30年近く経過しておりますが、地元住民に親しまれ、周辺都市からの観光客も多くダムへの年間訪問客も増えている状況であります。村道（管理用道路）等、周辺整備がされておらず通行等にも危険な状況であります。

このような河川等の状況の中で、かかる被害を防止し、地域住民の安心、安全な生活が確保できるよう下記箇所の整備を早期に実施戴きますよう要望致します。

記

1. 大野寺前付近は、出水のたびに浸水の危険にさらされています。護岸整備戴いた下流地域の早期改修を要望します。
2. 三本松 道の駅「宇陀路室生」付近については、本村の東の玄関口として、道の駅をはじめ、花しょうぶ園など多くの観光客等が訪れる場所であり、河川に親しむ場としての環境整備事業の実施を要望します。
3. 三本松 長瀬地区においては、無堤防地域であり出水のたびに浸食にみまわれ、浸水の危険にさらされています。一部改修戴いておりますが、下流への継続した改修を早期に実施戴きますよう要望します。
4. その他の地域についても全区間にわたってほとんど自然護岸の状況であり、出水のたびに浸水にみまわれ、崩壊並びに浸食の危険にさらされている状況であり、一日も早い護岸整備を強く要望します。

5. 室生ダム周辺整備については、室生村として「むろうリーピング計画」を策定し、ダムを中心とした豊かな自然環境を活用した整備事業を進めているところであります。

また、ダム湖の水質改善についても環境に配慮した副ダムを完成して戴きましたが、ダム湖周辺の整備がなされていない状況であり、ダムへの年間訪問客も年々増加していることから早急に周辺整備を戴きますよう要望します。

